

インターネット サービス プロバイダ (ISP) ワークシート

Intel Gateway アクセス ポイント/ルータが正常に動作するためには、様々なパラメータを設定する必要があります。インターネット サービス プロバイダ (ISP) の要件によって、以下の 1 つ以上のカテゴリの情報がインストール中に必要です。ブロードバンド接続のインストール担当者からこの情報を受け取っている場合があります。そうでない場合は、ご利用の ISP に情報をお問い合わせください。

さらに、各コンピュータを Intel® Wireless Gateway と動作するように設定する必要があります。最も簡単かつ効率的な方法として、各コンピュータが Intel® Wireless Gateway の内蔵 DHCP サーバから設定情報を自動的に取得するように設定します。このためには、お使いのコンピュータの有線または無線ネットワーク アダプタの TCP/IP パラメータをインストールまたは修正する際に、自動的に IP アドレスを取得するように設定します。

ISP の情報

ISP 名	
接続のタイプ	XDSL またはケーブル モデム
ISP サポートの電話番号	

ISP で IP 設定 (静的 IP) を手動で入力する必要がある場合

IP アドレス	
IP サブネット マスク	
ISP ゲートウェイ アドレス	
Domain Name Server (DNS) 1	
Domain Name Server (DNS) 2	

ISP でユーザ名/パスワード (PPPoE 設定) を入力する必要がある場合

ユーザ名	
パスワード	
アイドル状態のタイムアウト値	指示されている場合のみ、アイドル状態のタイムアウト値を設定する

ISP でホスト コンピュータ名またはドメイン名を入力する必要がある場合

ホスト名	
ドメイン名	

ISP で WAN イーサネット MAC アドレスを入力する必要がある場合

MAC アドレス (12 文字)	
------------------	--

無線設定

Intel® Wireless Gateway を設定する際、以下の無線パラメータを設定する必要があります。既存の無線ネットワークに Intel® Wireless Gateway を追加している場合は、ネットワーク管理者か無線ネットワークの初期設定者にお問い合わせください。無線設定に精通していない場合は、以下の説明を参照してください。

SSID (必須)	
RF チャンネル (デフォルトは 11)	
国の選択	
暗号化モード (デフォルトでは無し)	なし/40 ビット/128 ビット
暗号化キー (モードが 64 または 128 ビットの場合)	

SSID

SSID は Wireless Local Area Network (WLAN) の識別子です。デフォルト値の 101 を変更して、お使いのネットワークが他のすべての WLAN の値と異なるようにします。相互通信を可能にするには、すべてのワークステーションおよびアクセス ポイントで同じ SSID を入力しなければなりません。これは、32 文字のフィールドで大文字と小文字の区別があります。たとえば、ユーザの住所や WLAN が実際に所在する場所を表す何らかの識別子、ユーザの名前、会社名、部署、好きなスローガンやことわざなどがあります。

RF チャンネル

- Intel® Wireless Gateway は様々なチャンネルで動作できます。ユニットが相互に近接している場合は、チャンネルを区別する必要があります。ユニットが 1 個のみの場合は、デフォルトチャンネルの 11 でも適切でしょう。ユニットが複数ある場合は、3 つのチャンネル 1、6、11 を使って、ユニットの対象域を区別することをお勧めします。

国の選択

- 世界各国の様々な法規に準拠するように、Intel® Wireless Gateway の動作形態を修正します。

暗号化モードおよびキー

- Intel® Wireless Gateway は、暗号化をサポートする無線ネットワーク アダプタと共に通信データを混乱させることができるので、第三者による情報の侵入または妨害が非常に困難になります。暗号化には 40 ビットと 128 ビットの 2 つのレベルがあり、128 ビットの方がより安全です。各 Intel® Wireless Gateway およびすべての無線ワークステーションは、相互に通信するために同一の合致する「キー」が必要です。キーは、単にユーザが無作為に選択する一連の 16 進数です。

他の設定

無線アクセス ポイント モードのみをオンにする/無線アクセス ポイントとルータ機能をオンにする

デフォルトでは、Intel® Wireless Gateway は無線アクセス ポイントとルータとして機能します。複数の Intel® Wireless Gateway を含む設定で、ネットワークの他のユニットがルータの機能を果たす場合に、この設定を変更できます。また、複数の Intel® Wireless Gateway を含む設定で、ルータの機能が不要でない場合にも、この設定を変更できます。

AP の IP 設定および DHCP サーバ設定を手動で設定する

通常、デフォルト設定を使用します。既存のネットワークで Intel® Wireless Gateway を使用している場合は、これらの設定を変更する必要があるかもしれません。

Copyright © 2001, Intel Corporation.
All rights reserved.

Intel Corporation, 5200 N.E. Elam Young Parkway, Hillsboro, OR 97124-6497
Intel Corporation は本書に記載されている内容の誤りまたは記載漏れについて、一切責任を負いません。また、本書の記載内容を更新する義務も一切負いません。
* その他の製品名および会社名は一般に各社の商標であり、本書では、説明の用途でのみ使用しており、これらの所有権を侵害する意図はありません。